

# 大学院特別講義/シグナル伝達医学講演会

日時 平成28年9月6日(火) 18:00~19:30

場所 研究棟B 2F 共同会議室

**Andrei Turtoi 先生**

Metastasis Research Laboratory  
University of Liège, Belgium



## Restoring the Cancer-associated Fibroblast Defensive Phenotype for Effective Tumor Treatment

(がん関連線維芽細胞(CAF)のもつがん抑制形質の回復  
による効果的ながん治療)

がん細胞により「教育」された線維芽細胞は、治療抵抗性や転移能の獲得をサポートしてがんの悪性化に貢献すると考えられます。一方、Turtoi先生は、線維芽細胞は本来腫瘍形成を「抑制」する働きをもつという観点から独自の研究を進めています。本セミナーでは、がん関連線維芽細胞(CAF)の「教育」に関わる分子の解析を通じて、CAFが本来もつがん抑制機能を回復させることに主眼をおいた研究を紹介します。

文献: Maris P. et al. PLoS Medicine 2015, Turtoi A. et al. Hepatology 2014

【担当】 分子細胞生物学分野 下野洋平 准教授

【主催】 シグナル伝達医学研究展開センター

【連絡先】 研究支援課研究企画係(内線5195)/E-mail: k9shien@med.kobe-u.ac.jp